



RIAISON INTERNATIONAL

英文会計実務の基礎知識

続・グローバルビジネスパーソンのための ゼロから学ぶ英文国際会計実務

リエゾンインターナショナル株式会社
英文会計中級コース ダイジェスト版

www.riaison.com



RIAISON INTERNATIONAL

1. 外貨建て収益と為替差損益

1-1. 商品売上時の仕訳

日本国内の在庫 3,500,000円を国外へ輸出し、海外売上 USドル建て \$50,000 売上計上時の為替レートは JPY98.00/USD 代金回収は40日後

販売時の仕訳	Dr. (借方)		Cr. (貸方)	
日本語	売掛金	4,900,000	売上 (国外)	4,900,000
英語	Accounts receivable-trade	4,900,000	Sales-overseas	4,900,000
	Cost of goods sold	3,500,000	Inventories	3,500,000

$\text{USD}50,000 \times 98.00 = 4,900,000$ (円ベースでの売上高)

売上高は国内売上なのか国外（海外）売上なのかがわかるよう区別して仕訳するのが通例です。勘定科目には「海外売上」「国外売上」等

日本語の仕訳は、日本企業でよく使われている「仕入」勘定、英語の仕訳は海外でよく使われている「Inventory」勘定を、商品仕入時に使っている前提での仕訳例です



RIAISON INTERNATIONAL

1. 外貨建て収益と為替差損益

1-2. 売掛回収時の仕訳

40日後、前ページ1-1で売り上げた US\$50,000 を回収、全額が銀行口座に入金された。回収時の為替レートは JPY100.00/USD

回収時の仕訳	Dr. (借方)		Cr. (貸方)	
日本語	預金	5,000,000	売掛金	4,900,000
			為替差益	100,000
英語	Bank	5,000,000	Accounts receivable-trade	4,900,000
			Foreign exchange gain-realized	100,000

$USD50,000 \times 100.00 = 5,000,000$ (円ベースでの回収額)

売上時に計上した売掛金の全額を貸方に移して消し、回収時の為替レートで計算した円換算額を借方（預金）に記入。貸借の差額が為替差損益になります。



RIAISON INTERNATIONAL

2. 外貨建て費用と為替差損益

2-1. 商品仕入時の仕訳

海外の仕入先から商品 EUR30,000 を輸入した。仕入時の為替レートは JPY132.00/EUR 代金支払いは40日後

仕入時の仕訳		Dr. (借方)		Cr. (貸方)	
日本語	仕入 (国外)	3,690,000	買掛金	3,690,000	
英語	Inventories	3,690,000	Accounts payable-trade	3,690,000	

$\text{EUR}30,000 \times 123.00 = 3,690,000$ (円ベースでの仕入高)

仕入高は国内仕入なのか国外 (海外) 仕入なのかがわかるよう区別して仕訳するのが通例です。勘定科目は「海外仕入」「国外仕入」等

日本語の仕訳は、日本企業でよく使われている「仕入」勘定、英語の仕訳は海外でよく使われている「Inventory」勘定を、商品仕入時に使っている前提での仕訳例です



RIAISON INTERNATIONAL

2. 外貨建て費用と為替差損益

2-2. 買掛支払時の仕訳

40日後、前ページ 2-1 で仕入れた商品代金を 銀行口座から送金して全額支払った。支払時の為替レートは JPY135.00/EUR

支払時の仕訳	Dr. (借方)		Cr. (貸方)	
日本語	買掛金	3,690,000	預金	4,050,000
	為替差損	360,000		
英語	Accounts payable-trade	3,690,000	Bank	4,050,000
	Foreign exchange loss-realized	360,000		

$\text{EUR}30,000 \times 135.00 = 4,050,000$ (円ベースでの支払額)

買掛支払時も、売掛回収時も、銀行手数料がかかりますが、ここではその仕訳を省いています



RIAISON INTERNATIONAL

3. 社内レートと為替差損益

1. 外貨建て収益と為替差損益 2. 外貨建て費用と為替差損益 では、
外貨建て取引を円換算する際、当日の実際レートで換算する前提で解説してきました。

外貨建て取引が頻繁でない場合は、当日の実際レートで換算することは大きな事務負担になりませんし、予算実績管理などの財務管理上もさほど問題になりませんが、外貨建て取引が頻繁になると、取引のつど実際レートを確認し、円換算額を計算するのは、管理がしにくくなり、効率も悪く、記録のミスにもつながります。

そこで、実際レートに代わり、社内レートを決め、このレートによって、外貨建ての収益・費用を円換算する方法がとられています。

社内レートには、前月の実際レート平均を今月の社内レートとするなど、合理的に計算されたレートが使用されます。



RIAISON INTERNATIONAL

4. 国内収益と国外収益

4-1. 国内売上の仕訳

日本国内の在庫 3,500,000円を日本国内の会社に、5,000,000円（消費税別）で売り上げた。代金回収は翌月

販売時の仕訳	Dr. (借方)		Cr. (貸方)	
日本語	売掛金	5,400,000	売上（国内）	5,000,000
			仮受消費税	400,000
英語	Accounts receivable-trade	5,400,000	Sales-domestic	5,000,000
			Consumption tax payable	400,000
	Cost of goods sold	3,500,000	Inventories	3,500,000

2015年現在の消費税率で計算しています

日本語の仕訳は、日本企業でよく使われている「仕入」勘定、英語の仕訳は海外でよく使われている「Inventory」勘定を、商品仕入時に使っている前提での仕訳例です



RIAISON INTERNATIONAL

4. 国内収益と国外収益

4-2. 国外売上の仕訳

日本国内の在庫 3,500,000円を海外（国外）の会社に、5,000,000円で売り上げた。代金回収は翌月

販売時の仕訳	Dr. (借方)		Cr. (貸方)	
日本語	売掛金	5,000,000	売上（国外）	5,000,000
英語	Accounts receivable-trade	5,000,000	Sales-overseas	5,000,000
	Cost of goods sold	3,500,000	Inventories	3,500,000

海外（国外）へ売上げる場合、消費税は計上しません

海外（国外）へ売上げる場合も、国内へ売上げる場合も
円建て取引と外貨建て取引、どちらもありますが、ここでは
円建て取引を取り上げています

日本語の仕訳は、日本企業でよく使われている「仕入」勘定、
英語の仕訳は海外でよく使われている「Inventory」勘定を、
商品仕入時に使っている前提での仕訳例です



RIAISON INTERNATIONAL

5. 国内費用と国外費用

5-1. 国内費用の仕訳

日本国内の会社から商品 3,000,000円（消費税別）を仕入れ、国内の倉庫に保管した。代金支払いは翌月

仕入時の仕訳	Dr. (借方)		Cr. (貸方)	
日本語	仕入 (国内)	3,000,000	買掛金	3,240,000
	仮払消費税	240,000		
英語	Inventories	3,000,000	Accounts payable-trade	3,240,000
	Consumption tax deductible	240,000		

2015年現在の消費税率で計算しています

日本語の仕訳は、日本企業でよく使われている「仕入」勘定、英語の仕訳は海外でよく使われている「Inventory」勘定を、商品仕入時に使っている前提での仕訳例です



RIAISON INTERNATIONAL

5. 国内費用と国外費用

5-2. 国外費用の仕訳

日本国外（海外）の会社から商品 3,000,000円を仕入れ、国内の倉庫に保管した。代金支払いは翌月

仕入時の仕訳	Dr. (借方)		Cr. (貸方)	
日本語	仕入（国外）	3,000,000	買掛金	3,000,000
	輸入消費税	240,000	買掛金	240,000
英語	Inventories	3,000,000	Accounts payable-trade	3,000,000
	Consumption tax deductible	240,000	Accounts payable-trade	240,000

2015年現在の消費税率で計算しています

日本語の仕訳は、日本企業でよく使われている「仕入」勘定、英語の仕訳は海外でよく使われている「Inventory」勘定を、商品仕入時に使っている前提での仕訳例です

仕入れた商品本体に対する支払先と輸入消費税の支払先は、通常違うので、買掛金も支払先ごとに管理します



RIAISON INTERNATIONAL

6. グループ内収益とグループ外収益

6-1. グループ内売上の仕訳

日本国内の在庫 3,500,000円を日本国外の関連会社に、5,000,000円で売り上げた。代金回収は翌月

販売時の仕訳	Dr. (借方)		Cr. (貸方)	
日本語	関連会社売掛金	5,000,000	売上 (国外)	5,000,000
英語	Accounts receivable-trade-InterCompany	5,000,000	Sales-overseas	5,000,000
	Cost of goods sold	3,500,000	Inventories	3,500,000

グループ内の売掛金・売上は、グループ外の売掛金・売上と
区別して仕訳します

日本語の仕訳は、日本企業でよく使われている「仕入」勘定、
英語の仕訳は海外でよく使われている「Inventory」勘定を、
商品仕入時に使っている前提での仕訳例です



RIAISON INTERNATIONAL

6. グループ内収益とグループ外収益

6-2. グループ外売上の仕訳

日本国内の在庫 3,500,000円を日本国外のグループ外会社に、5,000,000円で売り上げた。代金回収は翌月

販売時の仕訳	Dr. (借方)		Cr. (貸方)	
日本語	売掛金	5,000,000	売上 (国外)	5,000,000
英語	Accounts receivable-trade	5,000,000	Sales-overseas	5,000,000
	Cost of goods sold	3,500,000	Inventories	3,500,000

グループ外の売掛金・売上は、グループ内の売掛金・売上と区別して仕訳します。Accounts receivable-trade-ABC Inc 等のように、得意先名を勘定科目に入れるなどして、グループ外であることが分かるように、勘定科目やコードが設定されています。

日本語の仕訳は、日本企業でよく使われている「仕入」勘定、英語の仕訳は海外でよく使われている「Inventory」勘定を、商品仕入時に使っている前提での仕訳例です



RIAISON INTERNATIONAL

6. グループ内費用とグループ外費用

6-1. グループ内費用の仕訳

日本国外の関連会社から、商品3,000,000円を仕入れた。代金支払いは翌月

仕入時の仕訳	Dr. (借方)		Cr. (貸方)	
日本語	仕入 (国外)	3,000,000	関連会社買掛金	3,000,000
	輸入消費税	240,000	買掛金	240,000
英語	Inventories	3,000,000	Accounts payable-trade-Intercompany	3,000,000
	Consumption tax deductible	240,000	Accounts payable-trade	240,000

商品代金支払先と、輸入消費税支払先は通常異なるので、買掛金も支払先ごとに管理します

日本語の仕訳は、日本企業でよく使われている「仕入」勘定、英語の仕訳は海外でよく使われている「Inventory」勘定を、商品仕入時に使っている前提での仕訳例です



RIAISON INTERNATIONAL

6. グループ内費用とグループ外費用

6-1. グループ外費用の仕訳

日本国内のグループ外企業から、商品3,000,000円を仕入れた。代金支払いは翌月

仕入時の仕訳	Dr. (借方)		Cr. (貸方)	
日本語	仕入 (国内)	3,000,000	買掛金	3,150,000
	仮払消費税	150,000		
英語	Inventories	3,000,000	Accounts payable-trade	3,150,000
	Consumption tax deductible	150,000		

国内仕入の場合は商品代金支払先と、仮払消費税支払先は通常一致するので、買掛金は消費税を含んだ額になります

日本語の仕訳は、日本企業でよく使われている「仕入」勘定、英語の仕訳は海外でよく使われている「Inventory」勘定を、商品仕入時に使っている前提での仕訳例です



RIAISON INTERNATIONAL

7. 部門別収益・費用管理

単体やグループ全体での収益・費用を、部門別、商品群別など様々な観点からで管理し、予算策定や実績管理・分析等に役立てます。コストセンター、レベニューセンター管理などといわれています。部門別管理の他にも、国や地域別、プロジェクト別など、管理したい視点で集計し、統計をとったり分析したりできるように、帳簿の体系はつくられます。

そのために、帳簿は、部門（cost center, revenue center etc.）コード、勘定科目（account）コード、その他、開示や分析・統計に必要な要素コードを組み合わせ、細かく分類して記録され、情報開示や管理会計に役立てられます。

さらに詳しく英文国際会計実務の内容を学ぶなら 「英文会計中級コース」がお勧めです

インターネット環境があればどちらからでもご受講いただける
オンラインライブ講座と、事業所様に出向いて開講するオン
サイト研修がございます

オンラインライブ講座は RIソサエティ 英文会計中級コース
http://www.riaison.com/AccountingCourses/AccountingIntermediateNight_Online.html

法人研修は 法人研修ご案内 英文会計中級コース
<http://www.riaison.com/training-japanese/intermediate.html>